

Vol. 39

〈発行日〉

令和8年3月25日

松下ゆきよし



県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉

連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135

TEL (089) 969-3605

とべ動物園にやって来た

ボルネオオランウータンの「ジェニファー」

昨年末にインドネシアからとべ動物園にやって来た、ボルネオオランウータンのジェニファー。新しい環境にも少しずつ慣れてきて、3月4日から一般公開が始まっています。3月13日に15歳を迎えたジェニファーは、とても優しく賢い女

の子で、とべ動物園にいる15歳のハヤトのお嫁さん候補です。関係者の話では、賢いだけに到着してからなかなか自分の部屋から出てこない慎重派でした。オスのハヤトとはまだ顔を合わせていませんが、においや声でお互いの存在には

気付いているとのこと、

落ち着いたら二人の相性を見ながらゆつくりとお見合いが始まります。

少しやんちゃなハヤトと優しいジェニファー、仲良くなつて赤ちゃんが誕生するのを心待ちにしています。その前にややぼっちゃり系のジェニファーはダイエツトも頑張らないといけないようです。

目の周りに白い部分が残っていて童顔のジェニファーは、人気者になること間違いなしです。



写真提供・・・とべ動物園

愛媛県議会定例会（2026年2月）の概要

2月定例会県議会（第395回）は、3月19日に27日間の会期を終えました。可決議案は、予算26、条例17、人事3、その他10、議員提出の「愛媛県手話言語情報コミュニケーション条例」と、決議1、意見書5です。

なお、イランへの軍事攻撃に関し、武力行使の即時停止と現地在留邦人の完全確保を求める意見書は賛成少数で否決、伊方原発の停止の決議を求める請願は不採択となっています。

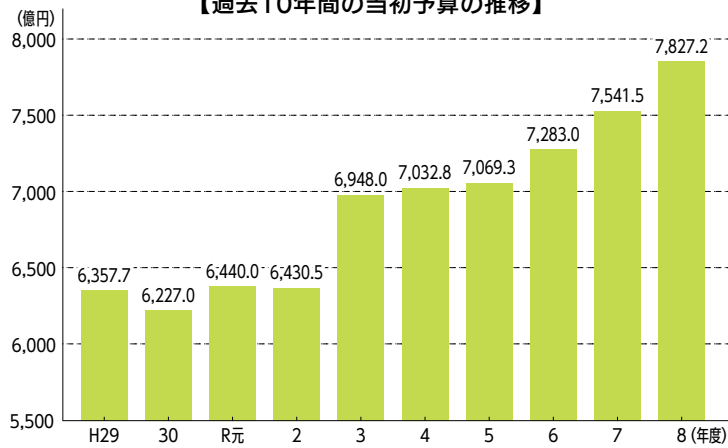
また、慣例により正副議長の交代、常任委員会の再編が行われました。

1 当初予算

令和8年当初予算は、一般会計が7,827億2,000万円（対前年度285億7,000万円増）で、中村県政最大となった昨年度をさらに上回る積極的な予算です。特別会計は2,391億400万円（▲58億5,700万円）、企業会計は751億7,000万円（+13億2,700万円）で、県全体の予算規模は1兆969億9,400万円になっています。

人口減少対策、DX・官民共創の推進など四つの重点施策のほか、教育やスポーツ文化の振興、海洋ゴミや脱炭素へ

【過去10年間の当初予算の推移】



の対応など、総合計画の9政策全体を俯瞰し、各分野に広く目配りして事業が盛り込まれています。主な事項は、次のとおりです。

(1) 人口減少対策

《R7：50億円→R8：53億円》

《2月補正7億円含む》

▼えひめ人口減少対策総合交付金交付

21億234万円

【表1】令和8年度 県当初予算の会計別規模

(単位：百万円、▲は減)

会計別	予算額	前年度当 compared
一般会計	782,720	28,570
災害救助基金	8	7
国民健康保険事業	127,109	▲443
母子父子寡婦福祉資金	376	▲321
中小企業振興資金	17	0
農業改良資金	7	増減なし
国営農業水利事業負担金	481	52
県有林経営事業	292	17
林業改善資金	179	49
沿岸漁業改善資金	51	増減なし
公共用地整備事業	2,294	159
港湾施設整備事業	22	7
用品調達	306	増減なし
自動車集中管理	16	▲1
公債管理	107,838	▲5,361
奨学資金	109	▲22
計	239,104	▲5,857
電気事業	4,782	950
工業用水道事業	2,034	667
病院事業	68,354	▲290
計	75,170	1,327
合計	1,096,994	24,039

※端数四捨五入のため合計が合わない場合があります。

市町が地域の实情に応じた少子化対策を積極的に展開できるよう、メニュー選択型の総合交付金による支援を行います。県・市町が連携して少子化対策を推進します。

▼妊産婦産前・産後ケア支援事業

1億3,772万円

助産師の広域派遣や周産期医療ネットワーク構築。育児経験のない世帯へプッシュ型の産前・産後ケアの実施。助産師会の機能強化、事務の集約化を図ります。

▼外国人介護人材定着支援事業

4,681万円

人材・受入施設双方に対する県外人介護人材センターによる研修や施設

向け環境整備支援を実施します。

▼多様な農業労働力確保推進事業

596万円

労働力確保に取り組み経営体への支援。農業労働力確保対策会議等の実施。

(2) DX・官民共創の推進

《R7：86億円→R8：80億円》

《2月補正18億円含む》

▼運転支援等交通安全施設緊急整備事業

2億7,021万円

ビッグデータ（事故履歴や急ブレーキ頻度など）を活用して危険な箇所を抽出し、区画線引き直し、視距を阻害する植栽撤去など危険箇所の安全対策を実施します。

▼えひめ官民共創チャレンジ支援事業

1億307万円

官民共創による新たなサービス等の開発等に柔軟に対応するオーダーメイド型の補助金制度を創設します。

▼えひめ版政策エゴシステムによる

政策立案の高度化 3,107万円

多様な主体が企画段階から連携する



新潟県第二別館。1・2階が官民共創拠点 E:N BASE (エン・ベース)

仕組みを確立するとともに、職員のスキルアップ研修等を実施します。

▼(3) 防災・減災対策《R7:1.42億円 → R8:1.20億円》

▼農地再編復旧整備事業

6億9,930万円

西日本豪雨で被災した柑橘産地の区画整理を図る再編復旧を実施。施工場所：宇和島市(玉津地区、立間地区)、松山市(由良地区)、今治市(上浦地区)

▼県単独緊急防災・減災対策事業

44億6,000万円

▼木造住宅耐震化促進事業

1億8,852万円

補助限度額：改修287千円/戸(耐風加算138千円)、診断18千円/戸、設計100千円/戸

議会最終日には福羅議長、大西副議長の辞任に伴う正・副議長選挙があり、私は副議長に選ばれました。新議長を補佐し、少数会派の意見も考慮しながら円滑な議会運営に努めたいと考えています。新議長には松尾和久議員(自由民主党、松山市・上浮穴郡選挙区、当選4回)が満票で選ばれています。



議事堂議長室で、松尾新議長(右)と

また、常任委員会と議会運営委員会の編成変更も行われました。私は新しい常任委員会では、農林水産委員会に籍を置きます。

【表2】令和8年度の主な事業と予算額

◎新規事業、○大幅増額

(端数四捨五入)

人口減少対策	えひめ人口減少対策総合交付金	21億 234万円
	◎ 妊産婦産前・産後ケア支援事業	1億 3,772万円
	○ 外国人介護人材定着支援事業	4,681万円
	◎ 学生Uターン就職促進事業(2月補正)	2,769万円
DX・官民共創の推進	トライアングルエヒメ2.0事業(2月補正)	10億 1,890万円
	E:N BASE(エン・ベース)を核とした官民共創の推進体制構築(2月補正)	1億 1,019万円
	◎ 運転支援等交通安全施設緊急整備事業	2億 7,021万円
	◎ えひめ官民共創チャレンジ支援事業	1億 307万円
防災・減災対策	○ 農地再編復旧整備事業	6億 9,930万円
	木造住宅耐震化促進事業	1億 8,852万円
	◎ 愛顔の消防団担い手確保プロジェクト事業	995万円
	◎ 耳で聴くハザードマップ整備事業	429万円
地域経済の活性化	ベトナム地域連携ビジネス定着支援事業	978万円
	◎ えひめEVサーキュラーエコノミー推進事業	3,698万円
	◎ 果実供給力強化支援事業	1億 2,135万円
	◎ 砥部焼産地原料価格等高騰対策支援事業(2月補正)	1,378万円
	かんきつ流通施設強化支援事業(2月補正)	6億 2,486万円
	共同利用施設再編集約合理化推進事業(2月補正)	4億 1,245万円
	◎ 米麦共同利用施設再編整備事業(2月補正)	2億 7,160万円
その他	○ 全国植樹祭開催	9億 577万円
	◎ 公立小学校学校給食費負担軽減事業	32億 6,704万円
	救急医療等提供体制持続化緊急支援事業(2月補正)	15億 2,900万円
	県立病院政策的医療維持緊急支援金(2月補正)	10億 9,821万円
	◎ 犯罪検挙対策高度化プロジェクト事業(2月補正)	1,982万円

▼愛顔の消防団担い手確保プロジェクト事業 995万円

消防団員の確保・若返りに向けた広報を強化するとともに、県内プロスポーツと連携した団員確保対策等を実施します。

▼耳で聴くハザードマップ整備事業 429万円

視覚障がい者や外国人等が速やかに避難できる環境を整備するため、ハザードマップの音声読み上げなど避難情報の取得を支援するスマートフォンアプリを導入します。

(4) 地域経済の活性化

▼ベトナム地域連携ビジネス定着支援事業 978万円

ベトナム省(ベンチエ省含む3地域の再編により誕生)との覚書を軸に現地課題を県内企業の技術で解決するモデルを構築します。

▼しまなみ海道・国際サイクリング大会実施事業 9,194万円

7千人規模の大会を10月25日(日)に開催します。

▼えひめEVサーキュラーエコノミー推進事業 3,698万円

EVバッテリーの再利用スキームの実証や、技術指導を通じて県内で資源循環モデルを構築します。

▼果実供給力強化支援事業

1億2,135万円

・対象事業



準備が進む全国植樹祭会場(県総合運動公園多目的広場)

①苗木の新植・改植や灌水施設整備
②ハウス、ネット、モノレール、ドローンなど整備

③AIを使い画像処理が出来る小型選果機導入など

・補助対象等

J Aや要件を満たす農業生産法人を対象に整備費の3分の1以内補助

(5) その他

▼全国植樹祭開催 9億577万円

5月17日(日)開催の全国植樹祭に当たり、式典等大会運営をはじめ、会場の設



えひめこどもの城入口駐車場付近

営や招待者の輸送業務、全国林業後継者大会など関連行事等を実施します。

▼部活動改革広域連携体制構築事業 8,867万円

指導者等のデータベース機能や広域的なマッチング機能を備えた連携基盤システムを新たに開発。県独自の中高連携、プロスポーツ等との連携(合同練習・体験会等)などを実施します。

▼公立小学校給食費負担軽減事業 32億6,704万円

公立小学校の学校給食に係る食料費に対し交付金を交付。負担区分…国1/2

県1/2

2 補正予算

2月補正予算は、一般会計が77億1,581万円の追加で累計8,406億6,473万円。特別会計が15億1,690万円の追加で累計2,465億2,359万円、企業会計は15億円追加し累計763億4,234万円となっています。

なお、一般会計は12月に引き続き県独自の物価高騰対策を実施することや、災害に強い愛媛づくり基金など4基金への積み増しなど419億3,773万円を追加計上する一方で、国の内示額減により執行できなかった事業や、公債費利子の不用額など342億2,192万円を減額しています。

【表3】 令和8年度 とべもり+ (プラス) 関連事業費

とべもり+ (プラス) : えひめこどもの城、とべ動物園、県総合運動公園に「えひめ森林公園」を加えたエリア

とべもり+ (プラス) ゼロカーボン夢プロジェクト推進事業 (R6からの継続) PPA方式 (注1) により太陽光発電設備を導入するなど、ゼロカーボン先進事例としての取組を推進。	4,786 万円
とべもり+ (プラス) エリア交流拡大推進事業 とべもり+ エリア全体の魅力向上と相互誘客を促進するため、4施設が連携して周遊促進を図るほか、オランウータン来園記念イベントを共同で実施。	2,412 万円

(注1) PPA方式: 自治体が設置場所を提供し、PPA事業者が無償で太陽光発電設備を設置。設置した設備で発電した電気を、自治体は有償で利用し、維持管理はPPA事業者が担う制度。

えひめこどもの城		
愛顔創出事業	ボブスレー、てっぺんとりでエリアのリニューアル。 てんとう虫のモノレールの改新、園内屋外へのクールスポットの整備。	8,984 万円
愛顔波及事業	えひめグローバルキッズの育成 (県内の子どもたちが韓国へ行きサミットを開催など)、こどもアートチャレンジ2026の創造など。	4,614 万円
とべ動物園		
とべ動物園施設整備	オランウータン舎整備、サル・ヒヒ舎整備方針検討・設計など。	4億3,000 万円
とべ動物園展示動物等購入費	動物の購入や、動物の健康管理強化等に必要な医療器具の整備。	8,652 万円
とべ動物園魅力向上戦略推進事業	オランウータン来園1周年イベント、とべZOOイルミネーションなどイベント開催や、Webによる情報発信。	2,360 万円
えひめ森林公園		
全国植樹祭開催を契機にとべもり+ (プラス) の他3施設との連携イベント等を実施。		1,278 万円

(端数四捨五入)

- (1) 一般会計 (増額分)
- ▼ 学生Uターン就職促進事業 2,769 万円
 - 中国地方Uターン就職相談窓口の新設。県外学生が県内での就職活動をする交通費助成 (補助率 10/10、上限 20 千円)
 - ▼ トライアングルエヒメ20事業 10億1,890 万円
 - 最先端デジタル技術の実装・定着・横展開のほか、全国共創拠点との連携強化や事業者誘致を実施します。
 - ▼ E-NBASE (エン・ベース) を核とした官民共創の推進体制構築 1億1,019 万円
 - 第二別館内に新設するエン・ベースの運営体制を構築するとともに、共創イベントを定期開催。エン・ベースは5月26日開館予定です。
 - ▼ 砥部焼産地原料価格等高騰対策支援事業 1,378 万円
 - ① 砥部焼製造に係る設備投資を行う窯元を間接的に補助。補助率 3 分の 1 で補助金の限度額は 100 万円。砥部町も同額を補助します。
 - ② 砥部焼坏土の購入費用 (価格高騰分) に対して、県が 2 分の 1、砥部町が 2 分の 1 を補助します。
 - ▼ かんきつ流通施設強化支援事業 6億2,486 万円
 - 整備内容: えひめ南農協の4選果場を一箇所に統合。AI選果機など先端技術を導入します。
 - ▼ 共同利用施設再編集約合理化推進事業 3億5,950 万円
 - ① 野菜共同利用施設の再編集約・加速化
 - 整備内容: 広域選果流通体制施設整備 補助率: 国 55%、県 5%
 - 事業主体: 愛媛野菜広域事業コンソーシアム (構成員: JA全農えひめ、関連JA、生産者、実需者 (市場関係者) 等)
 - その他: 7、8年度の2か年事業 (R8は選果設備の整備)
 - ② 野菜共同利用施設の合理化・加速化 5,295 万円
 - 整備内容: きゅうりカラー画像処理測定式選別機一式 ほか
 - 補助率: 国 50%
 - 事業実施主体: 周桑農業協同組合
 - その他: 8年度事業
 - ▼ 米麦共同利用施設再編集約事業 2億7,160 万円
 - 整備内容: 水稻共同育苗施設の整備 補助率: 国 58・3%、県 5%
 - 事業実施主体: えひめ南農業協同組合
 - その他: 8、9年度の2か年事業
 - ▼ 救急医療等提供体制持続化緊急支援事業 15億2,900 万円
 - 救命救急や周産期医療など政策医療を担う県内基幹病院の体制継続に向け支援します。

▼**県立病院への給与改定差額緊急支援金**
 (9億2,610万円)と政策的医療維持緊急支援金(10億9,821万円)物価高騰の影響を受ける県立病院の経営支援のため、一般会計繰出金を増額しました。



県立中央病院の全景

▼**環境影響評価条例の改正**
 洋上風力発電事業に係る評価手続きの特例を設けます。

▼**国民健康保険法施行条例の改正**
 児童手当の拡充や「子ども誰でも通園制度」など子育て支援を拡充するための財源として、子ども・子育て支援金制度が成立しました。支援金は、社会保険料と合わせて保険者が徴収します。市町(国保)が徴収するための基準を定めました。所得などで差がありますが、標準的な納付金は月額200円/人位です。

▼**県営住宅管理条例の改正**
 入居に当たり連帯保証人を不要とします。

▼**学校職員定数条例を改正**
 合わせて97人増員とします。

4 人事

①任期満了を迎える高橋直人^{なほと}土地収用委員会委員に代わって、永井卓也^{たくや}氏、50歳が就任しました。

②議員選出監査委員の大石豪、帽子大輔議員に代わって西原進平(松山市・上浮穴郡選挙区・9期)議員、明比昭治(西条市選挙区・7期)議員が就任しました。

5 決議

日本人拉致問題の広報啓発を推進する決議

6 意見書

- ・公立学校の体育館等への空調設備整備助成制度拡充を求める意見書
- ・診療報酬制度の見直しを求める意見書
- ・自衛隊員の処遇改善、退職自衛官の再就職促進に関する意見書
- ・安定的皇位継承の議論促進を求める意見書
- ・刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

7 その他

▼**包括外部監査(注2)契約の締結**
 近藤荘公認会計士(松山市)と1,160万円(上限)の契約を結びました。

▼権利の放棄

・生活安定資金貸付金の元金(2人、91,970円)及び延滞利子支払請求権

・中小企業等グループ施設等復旧整備補助金で取得した財産の処分に伴う納付金(1人、166万円)の支払請求権及び延滞金支払請求権

・県立病院の診療費未払金(11人、254万円)の回収不能となった債権

▼**土地改良事業や土木建設事業等の負担額の変更**

▼**東予総合高校新館新築工事の請負額変更**。変更後の請負額は、13億4,036万円(税込)で2,036万円の増額です。

▼**国道378号泉山橋建設工事請負契約の締結**

・施工場所等…伊予市三秋、同市双海町高野川、延長82^{メートル}、幅員65^{メートル}

・請負者人…小手川工業(株)

・請負金額…7億4,107万円(税込)

▼**衆議院選挙に伴う補正予算(10億3,620万円)専決処分の承認**

▼**自動車事故などの賠償額の決定について報告(2件)**

(注2) 包括外部監査…弁護士や公認会計士など外部の監査人と契約を結んで予算の使い方にういて監査を受けること。地方自治法で、都道府県、政令指定都市、中核市に義務付けられています。

3 条例

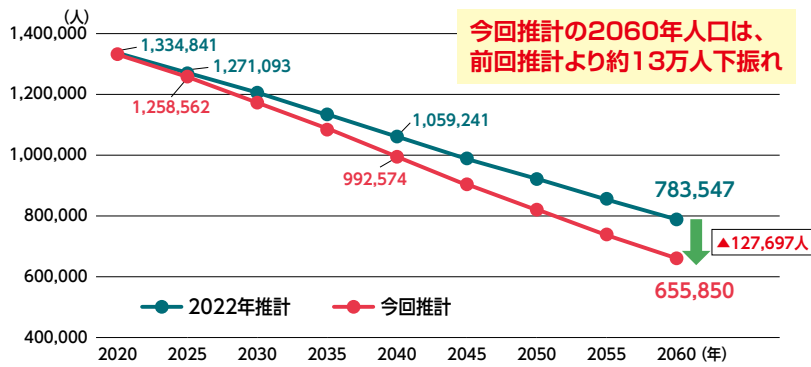
(2) **特別会計(増額分)**
 ▼**国民健康保険事業** 19億7,372万円
 国民健康保険事業に係る決算剰余金の積立てなど。
 ▼**県有林経営事業** 7,586万円
 県有林経営事業基金積立と、一般会計からの貸付金の返済。

主なものは次のとおりです。

高等学校	2,564人 →	2,652人 (88人)
市町立中学校	2,970人 →	3,053人 (83人)
中等教育学校	188人 →	174人 (△14人)
市町立小学校	4,991人 →	4,900人 (△91人)
特別支援学校	1,080人 →	1,111人 (31人)
計	11,793人 →	11,890人 (97人)

▼愛媛県が2060年の推計人口を、従来の約78万人から約65万人に見直しました。県は2060年人口100万人維持を目指して「えひめ人口減少対策戦略」を策定、2026年までに「転出超過の解消」と「出生数8,500人」という二つの目標を掲げて、取り組んできました。しかし、アフターコロナは、東京一極集中

今回の推計と前回(2022年)推計の比較



の再加速、出生数の更なる減少という厳しい現実となっています。新たな対策に早急に取り組むため、将来人口の再推計をしました。今回の推計では、生産年齢人口(15~64歳)の急減も予測されます。この世代は2025年時点で約69万人いますが、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には50万人を切り、2060年には約29万人にまで減る見通しです。あらゆる業界で人手不足が深刻化するだけでなく、地域の持続可能性にも不安が漂います。「縮小社会」を見据えた体制づくりが必要です。▼2月11日から国際交流促進議員連盟で、ベトナムの本県関係企業を視察しました。特に、最大都市ホーチミンにあるエスハイ社が印象に残りました。同社は、日本向けに高度外国人材や技能実習生らを育成する人材送り出し機関です。愛媛県は2024年に同社と覚書を締結。2022年に経済協力の覚書を結んだベンチエ省(行政区再編で現ビンロン省)を含めた3者が連携し、人材受け入れの愛媛モデル構築を進めています。視察では、日本人チーフコンサルタントの案内で各教室を見て回り、教室生と意見交換。真剣に学ぶ生徒の姿に感銘を受けました。日本は円安で、賃金面では彼らにとって決して魅力ある国ではありません。文化的な違いを乗り越えるための生活環境の整備や待遇の改善を進め、



エスハイ社の教室で生徒さんと意見を交わす(写真右側手前)

外国人材に選ばれる国にならないと思えました。ベトナムの平均年齢は32・8歳。49歳の日本から見ると随分若い国です。国の統計では、県内在住外国人の労働者数(令和7年6月末時点)は1万3,452人。国籍ではベトナムが最も多い4,234人です。▼1月27日公示、2月8日投票で行われた衆議院総選挙。結果は、自民党が316議席を獲得。衆議院定数の3分の2以上を占める空前の大勝利となりました。選挙の争点は一つではありませんが、共通していたのは消費税減税。「チームみらい」を除くほぼ全党が消費税の引き下げや廃止を訴えています。高市総裁も2年間限定ですが、食料品

消費税と歴代首相

竹下 登	1989年4月に3%の消費税導入。増税にリクルート事件が加わり、同年6月退陣
橋本 龍太郎	1997年4月に5%へ。翌年の参院選に大敗し辞任
野田 佳彦	2012年に段階的に10%にあげる社会保障と税の一体改革をまとめた後、年末の衆院選で大敗し政権交代
安倍 晋三	2014年4月8%に。15年10月予定だった10%への引き上げを2度延期

に係る消費税の廃止を公約に掲げました。今の日本の現状と将来世代のことを考えれば、消費税の減税とか廃止が無理なことは、明白。食料品だけゼロにした場合でも減収額が約5兆円にのぼります。代わりの財源として法人税などを軽減している「租税特別措置」の見直しや、政府系ファンドの活用などが挙げられていますが、それでこの穴を埋められるのでしょうか。消費税は、歴代の内閣が政治生命をかけて、小石を積み上げるように築き上げてきた「税」です。持続可能な社会保障と負担についてもっと本音の議論が必要だったのでないでしょうか。救いは、消費税率維持を掲げた「チームみらい」が、躍進したことです。出口調査では、10~30代の支持が厚かったとのこと。若者は現状を冷静に判断しているようです。

悔いなき命を

著者：岡田 嘉子 出版：廣濟堂出版

私の本棚

晴走雨読
せいそううどく

1938（昭和13）年、厳冬の樺太国境を越えてソ連に亡命した女優がいたことをご存知ですか。この本の著者、岡田嘉子はその人です。当時彼女は、スター女優として活躍していましたが、スキャンダルまみれの生活に行き詰まりを感じていました。また、自身に演技の基礎がないことに不安を抱えていました。そんな中、舞台に活路を求め、松竹傘下の新派演劇、井上正夫一座に参加します。そこで出会った共産主義者の演出家杉本良吉と激しい恋に落ち、共産国家への憧れもあって二人でソ連に亡命、消息を絶ちます。岡田嘉子35歳の時です。

1952（昭和27）年、訪ソした国会議員が彼女の生存を確認。往年のスターが鉄のカーテンの向こう側でどのように生きて来たのか。関心が高まりました。1972（昭和47）年11月、34年振りに帰国。翌年この自叙伝『悔いなき命を』を刊行し、さまざま憶測に対する彼女からの答えとしました。

ただ、この本で彼女が語っている亡命してからの10年間は、ソ連当局が作り上げた虚構の経歴です。強制収容所を転々とし、日本との開戦に備え対日諜報要員として育成されたと思われるのが、スターリンの粛清の嵐が吹くソ連をどうやって生き抜いたのか、何をしていたのか、彼女は最後まで本当のことを語りませんでした。

1947年秋に釈放され、翌年4月モスクワ放送局のアナウンサーとなります。その後、10歳下の日本人の同僚で、戦前日活の人気俳優だった



滝口新太郎と結婚。滝口の協力もあって、50歳をこえて、念願の演劇大学に入り、女優として、演出家として、再び華々しい活躍が始まります。1971年10月、夫の滝口新太郎が肝硬変で死亡。翌年11月、滝口の遺骨とともに日本に帰国します。彼女は、70歳になっていました。日本でこの本を刊行した後、一時ソ連に戻りますが、1974（昭和49）年2月に再来日し、日本の芸能界に復帰、演劇や映画で活躍しています。1986（昭和61）年に日本の芸能界を再び引退しソ連へ戻り、ソ連で亡くなりました。享年89歳。

この自叙伝には、砥部町出身の俳優井上正夫の名前がよく出てきます。この時代の演劇人、そして、彼女自身が井上正夫という俳優を高く評価していたことが読み取れます。彼女は、井上正夫生誕100周年記念式典（1980年）と、胸像建立記念式典（1985年）の折に砥部町を訪れています。岡田嘉子という波乱の人生をおくった女優を知ること、改めて井上正夫の人間としての大きさに触れることができます。



愛媛県議会議員

松下 行吉 まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135
TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606
Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<https://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>



このレポートは環境に配慮した FSC®森林認証紙を使用しています